



ファイナンシャルプランナーに相談.com

得意技は、あなたのお金を守ること

「専属FPがおりますので」
というライフスタイル

Personal life design and financial planning - for you and your family Livelihood ライブリッド プランニング Planning

豊かさ と 幸せ の心理学 (その2)

===== 間違いだらけの豊かさとは、サヨウナラ =====

本当の豊かさとは

幸せと豊かさ、同じような質問ですが全然違います。家を買って人生大成功！。本当でしょうか？本当に幸せですか？

違います。家を買ったからなのではなく、そこで家族が家族らしく生活できてそこで豊かさを感じられたから幸せなのです。

旅行に行った、嬉しい！

でも本当に嬉しいのは、その旅行の土産話を誰かに伝えられてこそはじめて嬉しいのです。

自動車を買った！

隣に乗ってくれる人、同じ時間を分かち合える人、あるいは褒めてくれたり羨んでくれる周りの人がいてやっと嬉しいのです。

本当の豊かさ、自分が本当に幸せなのはどんな時か考えてみませんか？

他人と比較して 嬉しい時 は？

街を歩いていると、ティッシュを配っている人に遭遇したとします。

前の人は一つしか貰っていないのに私は二つ貰ったよ、ラッキー。

これが逆に怒る人が結構いらっしゃるようです。京都市では何年か前にゴミ袋が有料化されました。大きな袋・小さな袋・一般用・資源ゴミ用と何種類もあるのですが、この有料化の最初の時に京都市は一セットずつを各世帯に無料で配りました。

「隣は2セットもらってる」

「うちはもらってない」

「いつくれるんだー」

区役所・市役所にももの凄い苦情が殺到したそうです。目の向け方が違ってきますよね。

「なんで有料化なの？」

という疑問がずれていってます。が、人間の行動としてはこういうことはよくあることで、他人はこうなのに、という部分で損した得した、と感じる方も結構いらっしゃるものです。

行動心理学に学べ！

行動心理学の問題で、先生がAさんに、『どちらかの行動を選んでください』というものがあります。

「Aさんに一万円あげます、でもそれを受け取れば、Bさんには三万円あげます」

「AさんもBさんにも何もあげません」

Aさんはどちらを選ぶかという、何も貰わない、Bさんが得するのは嫌だ、こう考えて、何も貰わないという答えを選ぶ割合が非常に多いそうです。

「俺にだけ、くれたんだ」
こういうことを素直に喜ぶ人もいます。「今だけ、キャンペーンです。お得です」
これとよく似ていますね。

あいつの給料は四十万円なのに私は三十五万円。たぶん誰でもこのような経験があると思います。

このような他人と比較した損得だけを考えている間は、幸せになれません。断言します。

今後の日本はおそらく低成長です。低成長時代に昔と同じ事をしていてもしかたありません。



ファイナンシャルプランナーに相談.com

得意技は、あなたのお金を守ること

Personal life design and financial planning - for you and your family Livelihood ライブリッド プランニング Planning

「専属FPがおりますので」
というライフスタイル

若者世代を 気にする必要はない

今の若者が可哀想だとおっしゃる方が大勢いらっしゃいます。「年金はたぶん減るだろうし、税金はこれからどんどん上がるだろうし。」って。

逆の見方で若者が可哀想だとおっしゃる方もいらっしゃいます。「若者は選挙に行かないからどんどん悪くなるんだ。もっと世の中のことを見つめろ」って。

今後の日本はおそらく低成長です。収入は三十代半ばで頭打ちそれ以降は年収が下がる時代です。十人に一人がリストラされ、正社員になることも難しい、こんな時代がやってくる時に、人並みに生活するというのはどういう事か考えたことがありますでしょうか？ でもだからといって若者は不幸だと考えるのは正しくありません。

とある私の御相談の風景です。

「年金額を見てびっくりしました。こんなに少ないんですか？ これから子供達も結婚して孫も出来るだろうし、まだ学生の三男が残っているし、家の修理もあるし、お墓も買いたいし」

最初に私はこんな風に言いました。

「とりあえず雨風に困らない家があって、飢え死にしない年金があって何が心配なのですか？」

『人並み』これは結局他人と比較しているだけのことなのです。だから絶対幸せになれません。テレビや新聞やマスコミが勝手に『人並み』なる姿を描き出して、多くの人々がそれに踊らされているということに気づかないと自分らしい人生、幸せな人生はいつまで経ってもやってきません。

若者世代がどうこう、という前に、自分のこと、こちらの方がいつも大切なのです。

三千万円、減ってます

とはいえ先立つものはお金であったりします。

退職金を定期預金、昔は十年で二倍です。、年金支給年齢も引き上げ。昔の人より合計三千万円のキャッシュが減っている時代です。

年金制度もままなりません。今のままでは二十一年間で積立金がなくなるからです。高齢化率を見ますと、年間十萬円の減額を十年間、その後の十年間でさらに十萬円の減額が妥当なところだと思います。年金が下げられないのなら代わりに消費税5%アップを二回行う感じですか。（年金額が二百万円の人で消費税が5%アップすれば十萬円に相当しますよね。）

お金は天下の回り物と言います。現役の給料が下がる時代になっているということは年金も下がる時代にならないとおかしくなるということです。（だから私はGDP経済成長をいつも重視しているのですけどね）

だから、ライフプラン

これから可処分所得は下がるでしょう。つまり人並みの生活というのは「使えるお金が減っていくという可哀想な生活」になるわけです。でも心配いりません、対処方法があります。三つあります。

一つ目は、なるようにしかならないと諦めること。若干の覚悟が必要です。二つ目は、将来の資金計画を考えること。しっかり考えるほど安心です。三つ目は、所得が下がらないようにする方法を考えること。働く・運用する・貰う、です。

これら3つの方法、いずれであっても、ライフプランをしっかり考えれば

いくらでも幸せになれる

と思っています。

転職して年収が三割減りましたが以前より幸せになりました、こんな方いらっしゃいますよね。

貴方も一度、本当の豊かき、考えて、ライフプランを一緒に作ってみませんか？